

小川赤十字病院 化学療法レジメン

対象疾患名 乳がん

申請レジメン名	TCHP	
放射線治療併用	☐ 有	☒ 無
1コースの目安	1コース	21日

催吐リスク	中度
根拠文献	N Engl J Med. 2011 Oct 6;365(14):1273-83.
投与回数上限	☒ 有(備考参照) ☐ 無

レジメン内容

No.	抗がん剤名 (溶解液等を含む)	標準的投与量	投与量注釈	投与方法	投与時間 (投与速度)	上限量	Day																				
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	カロナール錠200mg	2錠		内服	パージェタ投与 30分前		○																				
2	生理食塩液	100ml		点滴静注	ライン確保・ フラッシュ用		○																				
3	パージェタ点滴静注 生理食塩水	(初回)840mg (2回～)420mg 250mL		点滴静注	*初回60分 2回目以降～30分		○																				
4	生理食塩液	100ml	*2回目以降 は省略	点滴静注	60分		○																				
5	トラスツズマブBS点滴静注 大塚生食注	(初回)8mg/kg (2回～)6mg/kg 250mL	*注射用水で21mg/mLに溶解	点滴静注	*初回90分 2回目以降～30分		○																				
6	パロノセトロン点滴静注バッグ アロカリス点滴静注 デキサート注射液	0.75mg/50mL 235mg 9.9mg		点滴静注	30分		○																				
7	ドセタキセル注 生理食塩液	75mg/m ² 250ml		点滴静注	60分		○																				
8	カルボプラチン点滴静注 生理食塩液	AUC 6 250ml		点滴静注	60分		○																				

注意事項 * レジメン名は、似た名称を避けるため変更することがあります。 * このシートは1コース分が記載されています。 * 1回投与量の上限がある場合には上限量が記載されます。	備考(化学療法に必ず併用される特殊な手技・化学療法の中止基準) デキサメタゾンは、耐糖能等によって適宜増減 * パージェタ投与30分前カロナール内服 * カルボプラチン投与量＝目標AUC6×(25+cockcroft-gault式算出のクレアチニンクリアランス) TCIは6クール。PER+HERIは開始より1年間。
--	--